

## つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和5年度）2023年

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	12	2	土	9:00	13:30	はちの巣保育園	8名
活動名称	はちの巣保育園イベント 竹細工支援					報告者：吉井 優	

### 1、活動目的

昨年の「第二はちの巣保育園」秋祭りを体験した「はちの巣保育園」のスタッフから、藤金のはちの巣保育園のイベントでも、竹細工体験会を実施してほしいと連絡がありました。今年11月の第二はちの巣保育園イベントでは、竹細工体験が大好評だったこともあり、快く承諾し、参加しました。幼少のころから、親と一緒に竹細工などで、自然の素材にふれることで、地域の自然に対する理解と、好感度を高める効果があると信じ、保育園とも協力していきます。

なお、隣接する公園のお披露目イベントに協力し、植樹活動も行いました。

### 2、活動内容ほか

はちの巣保育園は、若葉駅前ということもあり、駐車場を自由に確保できないため、3台分の駐車場をお願いしました。逆さ木倉庫に集合し、軽トラと、自家用車2台で現場に向かう予定でしたが、倉庫には2名しか集まらず一瞬あせりましたが、現場にいくと、会員には、徒歩や自転車などで応援に来てくれていました。

第二はちの巣が大盛況だったことを踏まえて、たっぷり竹を用意し、スタッフもそろえました。しかし第二はちの巣のように、子どもたちがひっきりなしに竹細工に並ぶようなことがなく、のんびりと対応できました。前回と同じ、花瓶、竹ぽっくり、竹のケンダマ、お椀、お皿などを作りました。竹細工エリアは、少数の子供たちとのんびり体験活動をしていましたが、杉山氏が担当した竹のモビール（吊り弥次郎兵衛）づくりは盛況で、杉山氏一人だけ大奮闘でした。

準備した竹は、少量しか使わなかったため、持って帰るつもりでしたが、園長と相談して全て寄付することになりました。これからこの竹を使い、いろいろな竹細工活動を行うとのことでした。せっかく子供たちのために準備した竹ですので、こうして役にたってくれると感無量です。

### 3、評価：

第二はちの巣の竹細工のように、大盛況とはなりませんでした。それでも竹細工体験をやりたい子どもたちは、数人参加してくれて、一生懸命竹の切断作業をしていました。いつも思いますが、無心に竹と向かい合っている子供をみると、暖かく見守ってあげたい気持ちになります。この姿を見られただけで、竹細工体験を実施して良かったと思いました。

隣の公園植樹作業では、支柱を提供することで、都市計画に協力できた。個人の感想ではあるが、隣の公園は、緑が極端に少なく、もっと潤いが欲しいと感じました。

### 4、課題

竹細工活動の人気見通しが、なかなか一致しません。第二はちの巣では、竹が足りず、第一はちの巣では、大量に余りました。しかし、五味ヶ谷市民の竹は、たっぷりありますので、悩んだら多めに準備することにしましょう。

<里山クラブ参加会員>

村上、小沼、杉山、柳川、小澤邦、金  
吉井 撮影時不在 石川

<活動写真>

